

## ■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
剰余金の配当受領 株主確定日	期末配当金については3月31日 中間配当金については9月30日
単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人 及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (郵便物送付先) (電話照会先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
証券・銘柄コード	7458

## <お知らせ>

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関になっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 当社は、貸借対照表及び損益計算書並びに連結貸借対照表及び連結損益計算書を、当社ホームページ(<http://www.dkkaraoke.co.jp/>)に掲載しております。

## 株主優待のお知らせ

2010年9月30日最終の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に保有株式数に応じて優待券を贈呈いたします。

所有株式数	年2回発行	
	優待券(*1)	CD交換(*2)
100株以上 1,000株未満	500円券×10枚	1枚
1,000株以上	500円券×25枚	2枚

(\*1)当社が運営する「ビッグエコー」店舗、「楽蔵」「ウメ子の家」「びすとろ家」などの飲食店をご利用いただけます。  
(\*2)優待券全額と引き換えを条件に、アルバムCDと交換いただけます(カタログより選択)。  
贈呈時期：2010年12月3日より送付開始  
有効期間：2011年1月1日～2011年6月30日

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 7458

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元  
に到着してから約2ヶ月間です。 ご回答いただいた方の中から  
抽選で当選(図書カード500円)  
を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.e2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

 第一興商



# ECHO

Vol.30 第36期 決算のご報告(中間)  
2010年4月1日～2010年9月30日

## ■CONTENTS

- 株主の皆様へ
- セグメント別概況
- 連結決算概要
- クローズアップ 事業探訪
- 会社概要
- 株式の状況

 第一興商

# 株主の皆様へ



代表取締役会長兼社長

保志忠彦

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第36期中間期（2010年4月1日～2010年9月30日）の決算のご報告をお届けいたします。

業務用通信カラオケビジネスでは、カラオケコンテンツの配信データをできるだけ数多くの端末に配信することが重要であり、端末稼働台数の増加は不可欠だといえるでしょう。

これは、単に、音源ボードやシステムの違う端末機器が合従連衡によって増えたとしても、額面どおりのスケールメリットを享受することが難しいということも意味しております。

当初13社ほどあった業務用通信カラオケメーカー

は、現在ついに2社となり、当社グループが単独で着実に積み上げてきた『DAM』稼働台数は、過半のシェアを占めるに至りました。

当社グループでは、今後も、きめ細かく丹念に営業活動を展開することにより安定収入源となるナイト市場の完全制覇を狙い、カラオケボックス市場には強力な新機種を導入してまいります。

当期末に向け、依然として企業の設備投資意欲は旺盛とはいえず経営環境は厳しいと思われませんが、当社グループはこれをチャンスととらえ、全力で邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き倍旧のご支援ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、企業の業績が回復に向かい、設備投資意欲の減退にも下げ止まり感が見られるなど景気は持ち直し基調にあったものの、円高や政策効果の息切れなどによる景気減速の先行き懸念から、期後半にその足取りは軟化いたしました。また、雇用や個人消費は依然として低水準にとどまり、厳しい状況で推移いたしました。

このようななか、当社グループの業務用カラオケ事業におきましては、4月に発売した新商品の出荷

が堅調に推移し、通信カラオケ「DAM」シリーズの稼働台数も着実に増加しております。カラオケ・飲食店舗事業では、既存店売上が軟調に推移するなか、コストコントロールを徹底し、収益の確保に努めてまいりました。音楽ソフト事業では、主力アーティストの作品群に加えてアミューズメント機器向けの音源提供が収益に貢献いたしました。

以上の結果、当中間期の売上高は業務用カラオケ事業が前年同期並みを確保したものの、カラオケ・飲食店舗事業と音楽ソフト事業が減収となり60,833百万円（前年同期比2.6%減）となりました。利益面におきましては、業務用カラオケ事業の増益により営業利益は9,124百万円（同7.3%増）、経常利益は9,575百万円（同5.8%増）、また、中間純利益は、資産除去債務に関する会計基準の適用や適格退職年金制度の廃止に伴う特別損失の計上、税負担の増加などにより5,388百万円（同5.2%減）となりました。

## 通期の見通し

通期の見通しにつきましては、2010年8月9日付け第1四半期決算において公表した業績予想を変更せず、売上高1,277億円、営業利益172億円、経常利益181億円、当期純利益101億円を見込んでおります。

## 連結財務ハイライト

連結売上高 (単位: 百万円)



連結営業利益 (単位: 百万円)



連結経常利益 (単位: 百万円)

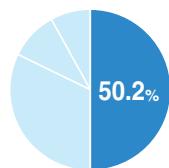


連結中間(当期)純利益 (単位: 百万円)



# セグメント別概況 〔本年度よりセグメント情報の開示に関する新基準を適用しており、前年同期のセグメント情報を当期間と同一基準に組み替えて記載しております。〕

## 業務用カラオケ事業



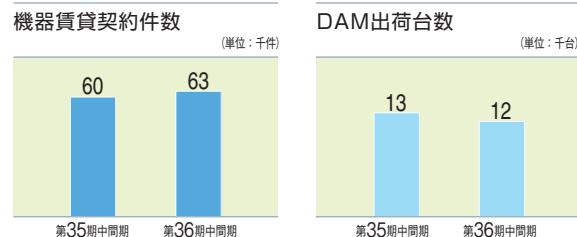
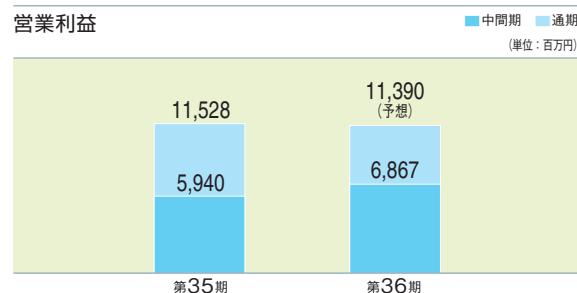
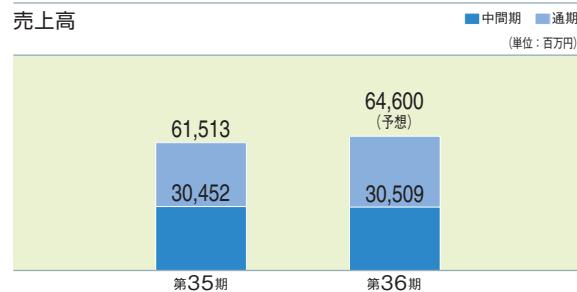
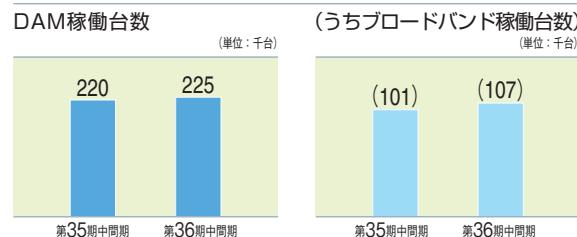
売上高 **30,509** 百万円 (前年同期比 **0.2%**増)

営業利益 **6,867** 百万円 (前年同期比 **15.6%**増)

当事業におきましては、安定的な収益の基盤となるストック型ビジネスの拡大に注力するなか、低シェア地域に重点をおいた営業活動により機器賃貸件数や「DAM」稼働台数は着実に増加いたしました。4月に発売した「サイバーDAM α (DAM-G50X)」などナイト市場向け商品群の出荷は堅調に推移いたしました。新フラッグシップ機の10月発売をふまえ、期後半には買い控えの傾向が見られました。

以上の結果、当中間期の売上高は、前年同期比0.2%増加の30,509百万円、営業利益につきましては、同15.6%増加の6,867百万円となりました。

### ●主要数値



## TOPICS (業務用カラオケ事業)

### ◆DAMシリーズの新フラッグシップモデル LIVE DAM (DAM-XG5000) デビュー (2010年10月)

圧倒的な高音質と鮮やかな映像、エンターテインメントコンテンツで、気持ちよく歌えるカラオケの本質を強力にレベルアップ

**LIVEDAM**



- 業界初! フルハイビジョンに対応。背景映像をワイドでクリアに刷新。
- 業界No.1! 生音演奏大量増曲。
- 本人出演映像を強化。LIVEカラオケも充実。
- 大型タッチパネルを搭載し、直感的で分かりやすい操作を実現。
- 16:9画面サイズに対応したテロップ表示。縮小機能も搭載。



2010年度グッドデザイン賞受賞

### ◆デモクIDS (CM2000)

- 7インチワイドカラー液晶タッチパネルを採用し、カラー電子目次本としてさらに進化。
- 会員認証とEdyによる課金が可能。
- 手書き文字検索など、多彩な楽曲検索機能を搭載。
- 「LIVE DAM」と連動し、「歌唱検定」や「DAM★とも」などのコンテンツが利用可能。

※Edy「エディ」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。

**デモクIDS**



### ◆LIVE DAMの魅力的な新コンテンツ 高性能グラフィックチップの搭載により、躍動感ある演出を実現

#### 精密採点DX

人気の採点シリーズがますますパワーアップ!

歌唱中は「メロディーどおりに歌えているか」、「こぶしやビブラートが上手く使えたか」などを分かりやすく表示。採点結果では歌唱力をグラフ化し、分析コメントで歌唱アドバイス。



#### 美川憲一のアンタ、歌えん!?

シニール&コミカル、異色のゲームが登場!

あなたの歌を判定しながら、美川さんがさまざまなキャラクターに変身。美川さんが満足すればどんどん変身し、満足しなければ強制的に…!? 最後のコメントも見逃せません!!



#### YOUR STORY

あなたの歌が物語を決める

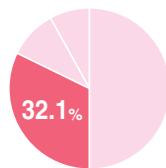
あなたの歌声によって、カラオケで流れる映像のストーリーが変わる! 上手く歌えば物語はハッピーな方向へ、そうでなければ…。数あるエンディングのなかから、あなたが導く結末は?



※上記は一部のコンテンツです。

# セグメント別概況 〔本年度よりセグメント情報の開示に関する新基準を適用しており、前年同期のセグメント情報を当期間と同一基準に組み替えて記載しております。〕

## カラオケ・飲食店舗事業



売上高 **19,553** 百万円 (前年同期比 1.3%減)

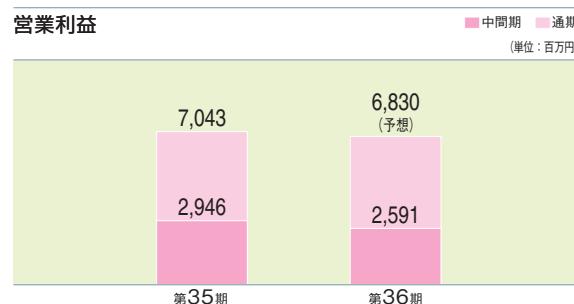
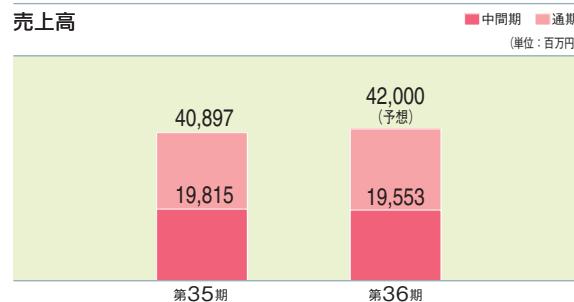
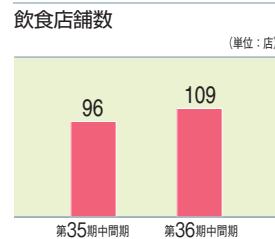
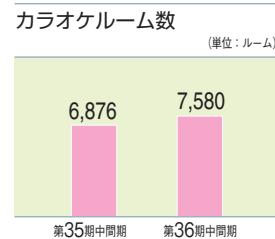
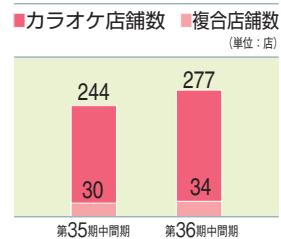
営業利益 **2,591** 百万円 (前年同期比 12.0%減)

当事業におきましては、カラオケルーム「ビッグエコー」と飲食店舗の多店舗・複合型店舗展開を行っておりますが、既存店売上が軟調ななか固定費の削減などコストコントロールの徹底により利益確保に努めました。

以上の結果、当中間期の売上高は、前年同期比1.3%減少の19,553百万円、営業利益につきましては、同12.0%減少の2,591百万円となりました。

また6月に完全子会社とした埼玉県を中心にカラオケ居酒屋「祭一丁」13店舗を展開するベスト・フーズ株式会社が、今後の収益に寄与することが期待されます。

### ●主要数値



## TOPICS (カラオケ・飲食店舗事業)

### 「ビッグエコー」

#### ◆ グランドメニューをリニューアル

「ビッグエコー」では、10月よりフードメニューを一新。B級・ご当地グルメが追加され、大盛りメニューも充実しました。

また、かねてから参加している社会貢献運動『TABLE FOR TWO』プログラムのメニューがグランド化。TFTマークの料理をご注文いただくと1食につき20円が『TABLE FOR TWO』を通じて開発途上の学校給食に対して寄付されます。

さらに11月よりドリンクメニューも一新。世界の銘酒ハイボールやガリガリ君オリジナルカクテルも加わり、よりバラエティーに富んだドリンクをお楽しみいただけます。

今後も、気持ちよくカラオケを楽しんでいただけるよう、サービスの向上と安心・安全な食事の提供を目指してまいります。



TFT…『TABLE FOR TWO』の略。『TABLE FOR TWO』とは、開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動です。



### 新ブランド

#### ◆ カラオケ居酒屋「祭一丁」

「祭一丁」は、埼玉県を中心に13店舗展開しております。お座敷と掘りごたつの両方の部屋をご用意し、お客様連れからご年配の方まで快適にご利用いただけるカラオケと居酒屋が融合した新感覚のお店です！

#### <店舗情報>

埼玉県：上福岡店 坂戸店 狭山入曽店 狭山上広瀬店 鶴瀬店 北大宮店 朝霞店 戸田店 浦和元町店 東川口店 和光駅前店  
東京都：東大和店 赤羽店



#### ◆ ビッグエコー各店舗に「LIVE DAM」を設置

「ビッグエコー」では、最新機種「LIVE DAM」、「デンモクIDS」、フルハイビジョンモニターを設置し、最適な空間をご用意して皆様のお越しをお待ちしております。

併せて、各店舗では「LIVE DAM」の楽しみ方をご案内しております。

最新テクノロジーを駆使した次世代フラッグシップモデルの魅力を、存分に体感ください。

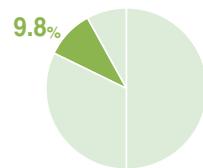
### LIVE DAM



「LIVE DAM」は順次導入しております。詳しくはホームページをご覧ください。

# セグメント別概況 〔本年度よりセグメント情報の開示に関する新基準を適用しており、前年同期のセグメント情報を当期間と同一基準に組み替えて記載しております。〕

## 音楽ソフト事業



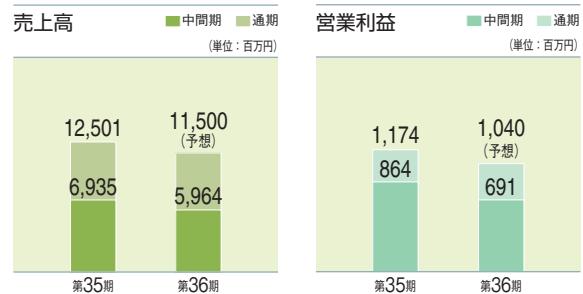
売上高 **5,964** 百万円 (前年同期比 **14.0%**減)

営業利益 **691** 百万円 (前年同期比 **20.0%**減)

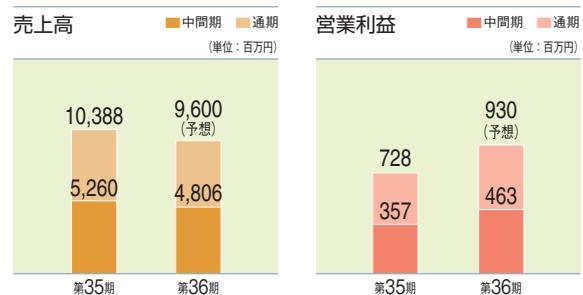
当事業におきましては、コストコントロールによる経営の効率化が定着するなか、日本クラウンの「SKE48」や「北島三郎」、徳間ジャパンコミュニケーションズの「Perfume」や「水森かおり」などの作品が順調に推移いたしました。また、

アミューズメント機器向けの音源提供が収益に貢献いたしました。

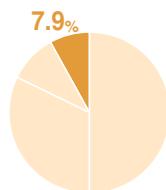
以上の結果、当中間期の売上高は、前年同期比14.0%減少の5,964百万円、営業利益につきましては、同20.0%減少の691百万円となりました。



以上の結果、当中間期の売上高は、前年同期比8.6%減少の4,806百万円、営業利益につきましては、同29.7%増加の463百万円となりました。



## その他の事業



売上高 **4,806** 百万円 (前年同期比 **8.6%**減)

営業利益 **463** 百万円 (前年同期比 **29.7%**増)

当事業におきましては、携帯電話向けサービスと衛星放送事業の加入者数は伸び悩んでおりますが、子会社が運営する不動産賃貸、パーキング事業、ホテル事業など堅調に推移しております。

## TOPICS (音楽ソフト事業)

### ◆話題のアーティスト・作品

#### CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.



#### SKE48

秋元康総合プロデュースのもと、AKB48の妹分として名古屋を拠点に活躍中。  
3rdシングル「ごめんね、SUMMER」は、前作に続きオリコンシングルウィークリーランキング初登場3位を記録。  
11月には待望の4thシングル「1!2!3!4!ヨロシク!」を発売し、さらなる飛躍を目指します。



#### Tiara

Spontania・SEAMO・KGと名だたる客演アーティストをシングルに迎え、配信を中心に大ブレイク中のTiara。  
1stアルバム「Message for you」は多くの女性の支持をうけ、好評発売中!  
11月に発売したニューシングル「愛しすぎて」は、ドラマ「京都地検の女」の主題歌に起用されるなど、新世代の恋の伝道師として注目されている女性アーティストです。



#### 北島 三郎

NHKラジオ第1「ラジオ深夜便」でリスナーから大反響のあった「母」がついに発売。  
自ら作曲し、北島の母への思いを仁井谷俊也氏が見事に歌詞で表現しています。  
いつも優しくあった母、時には厳しくもあった母。ここまで育ててくれた母をいつまでも忘れない。デビュー50周年を迎える今だからこそ、感謝の気持ちを込めて、歌い上げます。



#### Perfume

結成10周年を迎え、ついに「東京ドーム」でのライブを実現させたPerfume。  
8月に発売したシングル「VOICE」では、新境地を余すところ無くアピール。シングルセールスでは過去最高を更新しました。  
11月にはニューシングル「ねえ」を発売し、大型CMタイアップにより、前作以上のヒットが期待!



#### ソナーポケット

2008年のデビュー以来、共感度の高いメロディーと歌詞で一躍人気ユニットとなったソナーポケット。  
2010年アリナミンCMイメージソング「あなたのうた」やテレビアニメ主題歌「ネバギバ!」を収録した移籍第1弾アルバムが2011年1月に発売決定! 3人が織り成す次世代型ポップに要注目です。



#### 水森 かおり

4月に発売したデビュー15周年記念曲「松島紀行」がオリコンシングルウィークリーランキング初登場2位を記録し、7年連続TOP10入りと自己記録更新中!  
9月に発売した“歌で旅するアルバム”第9弾「歌謡紀行IX」には「松島紀行」をはじめ、オリジナル曲やカバー曲を収録し、好評発売中です。

# 連結決算概要

▶ 詳細な財務情報は、

当社ホームページ「IR情報」<http://www.dkkaraoke.co.jp/ir/ir.html>をご覧ください。

## 連結貸借対照表の要旨(中間)

(単位：百万円)

科目	第36期中間 2010年9月30日現在	第35期 2010年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	49,263	50,926
固定資産	77,014	74,849
有形固定資産	46,926	45,986
無形固定資産	8,808	7,420
投資その他の資産	21,279	21,441
資産合計	126,277	125,776
<b>負債の部</b>		
流動負債	26,042	26,866
固定負債	13,813	14,854
負債合計	39,855	41,721
<b>純資産の部</b>		
株主資本	86,542	84,226
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	17,285	17,285
利益剰余金	58,976	55,563
自己株式	△ 2,069	△ 973
評価・換算差額等	△ 1,036	△ 1,000
他有価証券評価差額金	△ 108	△ 153
土地再評価差額金	△ 777	△ 777
為替換算調整勘定	△ 150	△ 68
少数株主持分	915	828
純資産合計	86,421	84,054
負債及び純資産合計	126,277	125,776

## POINT

### ●流動資産

流動資産の減少1,663百万円はその他流動資産に含まれる前払費用の増加1,416百万円、現金及び預金の減少3,246百万円、受取手形及び売掛金の減少215百万円が主なものであります。

### ●固定資産

固定資産の増加2,165百万円はカラオケルーム及び飲食店舗設備の増加902百万円、のれんの増加712百万円、カラオケ貸貸機器の増加284百万円が主なものであります。

### ●流動負債

流動負債の減少824百万円は未払法人税等の減少1,485百万円、短期借入金の減少678百万円、未払金の増加822百万円、支払手形及び買掛金の増加468百万円が主なものであります。

### ●固定負債

固定負債の減少1,041百万円は長期借入金の減少966百万円が主なものであります。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書の要旨(中間)

(単位：百万円)

科目	第35期中間 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	第36期中間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
売上高	62,464	60,833
売上原価	36,057	34,828
売上総利益	26,406	26,005
販売費及び一般管理費	17,904	16,881
営業利益	8,502	9,124
営業外収益	845	707
営業外費用	293	256
経常利益	9,054	9,575
特別利益	291	387
特別損失	503	1,168
税金等調整前中間純利益	8,843	8,794
法人税、住民税及び事業税	3,865	3,863
法人税等調整額	△ 757	△ 547
少数株主損益調整前中間純利益	-	5,478
少数株主利益	51	90
中間純利益	5,683	5,388

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

<注記事項>	第35期中間 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	第36期中間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
1. 有形固定資産の減価償却累計額	52,373百万円	54,834百万円
2. 保証債務	591百万円	434百万円
3. 1株当たり中間純利益	84円36銭	81円95銭
4. 1株当たり純資産額	1,207円63銭	1,315円12銭

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨(中間)

(単位：百万円)

科目	第35期中間 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	第36期中間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,198	10,069
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,360	△ 8,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,661	△ 4,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△ 55
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 812	△ 3,323
現金及び現金同等物の期首残高	29,584	33,877
現金及び現金同等物の中間期末残高	28,771	30,554

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## POINT

### ●売上高

業務用カラオケ事業が前年同期並みを確保したものの、カラオケ・飲食店舗事業と音楽ソフト事業が減収となったことから前年同期比2.6%減少の60,833百万円となりました。

### ●営業利益・経常利益

業務用カラオケ事業の増益により営業利益は前年同期比7.3%増加の9,124百万円、経常利益は同5.8%増加の9,575百万円となりました。

### ●中間純利益

資産除去債務に関する会計基準の適用や適格退職年金制度の廃止に伴う特別損失の計上、税負担の増加などにより前年同期比5.2%減少の5,388百万円となりました。

## POINT

### ●営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・税金等調整前中間純利益 8,794百万円
- ・減価償却実施額 6,005百万円
- ・売上債権の減少額 204百万円
- ・法人税等の支払額 5,293百万円

### ●投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・有形固定資産の取得による支出 4,334百万円
- ・無形固定資産の取得による支出 2,127百万円
- ・子会社株式の取得による支出 1,083百万円

### ●財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・長期借入金の返済による支出 3,258百万円
- ・配当金の支払額 1,971百万円
- ・長期借入による収入 1,250百万円



株式会社 第一興商  
常務取締役 兼 上席執行役員 開発本部長  
熊谷 達也

## クローズアップ 事業探訪 Vol.2

# “カラオケの本質”を極めた NEWモデル「LIVE DAM」登場！

2010年10月20日、通信カラオケトップシェアを誇る第一興商が満を持して発売した新フラッグシップモデル「LIVE DAM」。その魅力やパフォーマンスなどについて、開発の陣頭指揮を執った開発本部長の熊谷達也がお話します。

### 最高の映像と音が演出する圧倒的なライブ感

その魅力をひと言で表現するなら、まるで本当のステージで歌っているような圧倒的な臨場感。3年半ぶりにリリースした弊社の新フラッグシップモデル「LIVE DAM」は、その名のとおり、とにかく“ライブ感”に徹底的にこだわりました。

特筆すべき点としてまず挙げられるのが、業界初の試みとして、全背景映像を16:9の高解像度フルハイビジョン対応にしたことです。撮影からすべてやり直し、これまで以上に美しい高精細な映像を大画面モニターで楽しむことができるようになりました。また、ワントッチでテロップを縮小表示できる機能も搭載。フルハイビジョン映像を満喫しながら、小さな文字のテロップもにじみなく、しっかり読めるようになっています。



KING of LIVE・矢沢永吉を起用した「LIVE DAM」のTV-CM「矢沢、ライブを語る」篇より

また、映像コンテンツとしても、アーティスト本人のプロモーションビデオやLIVEの映像が背景映像として充実しています。例

えば、山口百恵さんの映像など貴重なものも見るができます。

一方、音響面では新たに音源チップも開発し、迫力のあるハイクオリティなサウンドを実現しました。楽曲数は発売時に約135,000曲を搭載し、また、そのなかでも、プロの演奏家による生音演奏曲は従来モデルの2倍以上にあたる約14,500曲を用意しました。本物の生バンドが伴奏しているかのようなライブ感を味わうことができます。

また、本体には8.5インチワイド液晶タッチパネルを採用し優れた操作性を実現したほか、小型・軽量化にも成功。一般に外形を小さくすると機械が貧相に見えてしまうこともありますが、「LIVE DAM」は高級感溢れるデザインでそんなマイナスイメージも払拭しております。そして、その優れた造形性と質感によって2010年度グッドデザイン賞に選ばれました。

### もう一度、“カラオケの本質”へ原点回帰

振り返れば、これまでDAMシリーズでは採点機能やランキングバトルなど、単に「歌う」だけではない、カラオケの新しい楽しみ方を提案させていただきました。これらの

## LIVE DAM



サービスは多くのお客様からご支持を集め、カラオケファンの裾野を確実に広げてきたといえるでしょう。

そのようななか、一方で私どもは業界のリーディングカンパニーとして、ある大きなテーマに思い至ります。それは“カラオケの本質”——つまり、「歌う喜び」に今一度立ち返ること。この命題こそが新しいフラッグシップモデルの開発コンセプトとなり、最高の映像とサウンドで歌う楽しさと感動を最大限に演出できる「LIVE DAM」の誕生に繋がったのです。

3年以上の時間を費やし、参画していただいた協力会社も合わせて20社あまりと、「LIVE DAM」の開発は弊社では前例のないほど大規模なプロジェクトとなりました。私どもは全社一丸となって、最高のものづくりを目指し、そして、歌う喜びを進化および深化させるカラオケシステムを作り上げることができたと思っております。

こうして原点回帰を果たした現在、私どもでは再び、カラオケの新たな楽しみ方を模索中です。一例を挙げれば、上手・下手という“質”ではなく、どれだけ歌ったかという“量”で競い合うようなコンテンツ。例えば、矢沢永吉さんの曲を日本で一番たくさん歌った「YAZAWAマスター」や、浜崎あゆみさんの曲を一番長い時間歌った「ayuクイーン」の座を目指してみんなで競い合い、ひいてはそれが新しいコミュニティづくりのきっかけとなっていくような「LIVE DAM」による新機軸のサービスです。



### 「LIVE DAM」の魅力をさらに引き出す周辺機器

今回、「LIVE DAM」をリリースするにあたり、弊社ではそのパフォーマンスを最大限に引き出すべく、すべての周辺機器を新たに作り直しました。

例えば、「LIVE DAM」専用開発したデジタル式ハイパワーアンプ「DAM-AD5000」は、その高性能もさることな

がら本体にマッチする高級感溢れるデザインが特長です。また、新たなビルコインボックス「BB-5000」はさまざまなコンテンツ課金に対応し、大幅な小型化にも成功しています。

ほかにも、人気のスマートフォンなどでもおなじみのタッチパネルによる新しい操作感を持った「デンモクiDS(CM2000)」や、手元操作で音質を切り替えられる2種類のワイヤレスマイク、さらに、「LIVE DAM」の楽曲データと連動しながらフルカラーLED照明で光と色の演出を行う「LIVE DAM 演出照明」といった多彩な周辺機器がラインナップされ、さらなる操作性向上やステージ上にいるかのようなリアルなライブ感の醸成をバックアップしてくれます。

## デジモクiDS



### 市場から寄せられたたくさんのエール

2010年10月7日の東京を皮切りに全国主要都市で開催された「LIVE DAM」の発表展示会には、ディーラー様を中心に想定を上回る6,000名あまりの方々にご来場いただき、改めて、新モデルに寄せられる注目と期待の大きさを肌で感じる事ができました。そして、実際にデモンストレーションを見ていただいたお客様からは、「非常に良い商品を作ってくれた」「これからの年末商戦の強力な武器になる」と大変ありがたいお言葉をたくさんいただきました。

とにかく、「LIVE DAM」の素晴らしさをお伝えするには、いくら言葉を費やすよりも実際に体験していただくのがいちばんです。株主の皆様にもお店に足をお運びいただき、まずは「LIVE DAM」で歌っていただければと思います。きっと、最初の映像、最初の音が出た瞬間に、「あ、これまでのカラオケと全然違う！」とその品質を実感していただけるはず。ぜひ、歌う楽しさと感動に満ちた「LIVE DAM」の新しい世界をお楽しみください。



# 会社概要

## 会社概要 (2010年9月30日現在)

商号	株式会社 第一興商 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
所在地	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 電話 (03) 3280-2151 (大代表)
設立	1973年4月16日
資本金	12,350百万円
従業員数	当社 1,582名 グループ 3,217名
JASDAQ上場	1995年9月19日

## 役員 (2010年9月30日現在)

代表取締役会長兼社長	保志忠彦
専務取締役 兼 兼上席執行役員	林三郎
専務取締役 兼 兼上席執行役員	根本賢一
常務取締役 兼 兼上席執行役員	保志忠郊
常務取締役 兼 兼上席執行役員	和田康孝
常務取締役 兼 兼上席執行役員	青柳泉
常務取締役 兼 兼上席執行役員	熊谷達也
常務取締役 兼 兼上席執行役員	三富洋
取締役 兼 兼執行役員	村井裕一
取締役 兼 兼執行役員	渡邊泰人
取締役	吉川満
取締役	清水義美
常勤監査役(社外)	掛川洋
常勤監査役(社外)	石坂文人
常勤監査役	高瀬信行
監査役(社外)	有近真澄
	有馬伸治
	三宅彰
	黒川憲太郎
	西島勲
	小澤慎一
	田中浩二
	小椋久広
	末角浩彦
	飯島毅
	羽成一夫

## 第一興商グループ 当社及び連結子会社

40社

(2010年9月30日現在)



### 主な事業内容

- 業務用カラオケ事業
- カラオケ・飲食店舗事業
- 音楽ソフト事業

## 国内販売子会社 25社

(株)北海道第一興商	(株)城北第一興商	(株)北陸第一興商
(株)釧路第一興商	(株)台東第一興商	(株)京都第一興商
(株)北東北第一興商	(株)城東第一興商	(株)第一興商近畿
(株)東北第一興商	(株)城西第一興商	(株)京阪第一興商
(株)福島第一興商	(株)湘南第一興商	(株)兵庫第一興商
(株)常磐第一興商	(株)新潟第一興商	(株)九州第一興商
(株)群馬第一興商	(株)長野第一興商	(株)沖縄第一興商
(株)栃木第一興商	(株)静岡第一興商	
(株)埼玉第一興商	(株)東海第一興商	

## その他国内子会社 11社

(株)ディーケーファイナンス	(株)ディーケー音楽出版
ベスタ・フーズ(株)	(株)クラウンミュージック
日本クラウン(株)	(株)ズームリパブリック
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ	ユニオン映画(株)
クラウン徳間ミュージック販売(株)	丸萩洋酒工業(株)
(株)トライエム	

## 海外子会社 4社

(株)韓国第一興商	第一興商電子貿易(上海)有限公司
第一興商(上海)電子有限公司	D.K.Enterprises(Guam), Inc.

(注) ベスタ・フーズ(株)は2010年6月に全株式を取得し、完全子会社といたしました。

# 株式の状況 (2010年9月30日現在)

■発行可能株式総数 200,000,000 株

■発行済株式の総数 66,670,596 株

(注) 2010年10月8日付けで自己株式1,650,000株を消却しております。

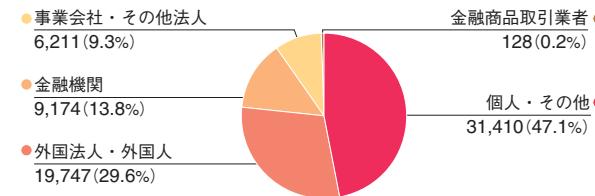
■株主数 13,214 名

■大株主

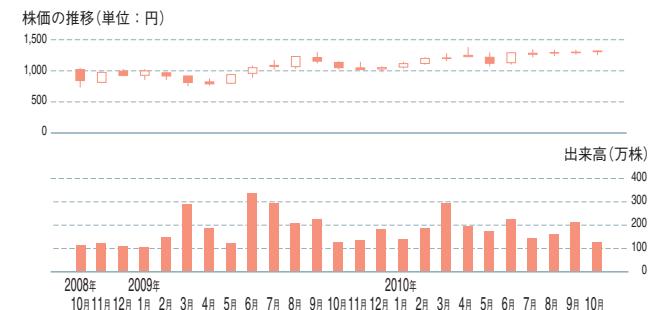
株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
保志忠郊	8,069	12.1
保志治紀	7,877	11.8
(有)ホシ・クリエート	4,449	6.6
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	3,282	4.9
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,362	3.5
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES SINGAPORE/ BP2S SYDNEY/JASDEC/AUSTRALIAN RESIDENTS	1,889	2.8
メロンバンクローティークライアントオムニバス	1,444	2.1
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,356	2.0
三菱UFJ信託銀行(株)	1,148	1.7
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505223	1,084	1.6

(注) 1. 上記のほか、当社は1,652,813株の自己株式を保有しております。  
2. 持株数、議決権比率は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## ■所有者別株式分布 (単位:千株/構成比)



## ■株価(月足)チャート



## ホームページのご案内

当社のホームページでは投資家の皆様にご活用いただける情報を掲載しております。ぜひアクセスしてください。

URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>



トップページ



IR情報

事業のご案内